

番号	2 - 16	申請者	看護師 阿部 沙矢香
<p><b>【審査申請課題】</b></p> <p>手術室における周術期看護の倫理的問題の実態及びその背景を明らかにする</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b></p> <p>A病院の手術室における手術件数は、年間850～900件(主に消化器外科、呼吸器外科及び整形外科手術)であり、看護師の過半数が手術室実務経験10年以上である。熟練した看護技術を提供することはできているが、看護師間で看護観や倫理的問題について語り合う機会は少ない。外来、病棟と比較すると密室性が高く、患者の多くが麻酔管理下にある、という手術室特有の看護現場において倫理的問題に直面した時にジレンマを感じる人が多いのではないかと考えた。手術を受ける患者の権利や尊厳、患者のプライバシーを守ることの重要性については先行文献でも明らかになっているが、手術室看護師が倫理的問題に直面した時に感じる事、その対処についての研究はまだ少ない。A病院において、倫理観に基づき質の高い看護を提供していくために、手術室看護師がどのような倫理的問題に直面しているのか、直面した時に何を感じどのように行動しているのかを明らかにしたいと考えた。</p>			
審査結果	承認 ( 令和2年9月11日 )		